

2026年鈴鹿サンデーロードレース第2戦 参戦報告書

雨に見舞われた鈴鹿サンデーロードレース第2戦
予選、決勝で好調の走りを見せた久原がナショナルクラス2連勝!!

◎6月6日(土) 公式予選 / 10:45~11:05 ◎天候・路面Croudy / Dry

#54久原昂士 2'22.265 予選2位 / #71 中山結互 2'23.891 予選8位
(高橋慶志郎;負傷欠場 ※サポートとしてチームに帯同)

公式予選が行われた6日の天候は曇り。気温はそれほど高くはないものの、蒸し暑い中での予選となった。午前10:45、20分間の予選が始まった。#71中山結互がグループの先頭でコースインしていく。#54久原昂士はあえて集団を避け、集団から少し遅れてアタックを開始した。中山はライバル勢とポジションを入れ替えながら走行を続けるものの、タイムは思うように縮まらず、全体の6番手付近のタイムを刻んでゆく。

対して久原は単独のまま徐々にペースを上げていくと、8周目にベストとなる2分22秒265を記録する。しかし、結果的にポールポジションの針尾大治郎選手からは1秒以上のビハインドを背負う2番手グリッドからスタートすることになった。中山もラストラップでベストとなる2分23秒891を記録するものの、ライバル勢に先行される格好となり、スタートポジションは8番手となった。

なお、高橋慶志郎は足のケガのために欠場となったが、間もなく回復するコンディションでもあり、今回はチームに帯同してチームメイトのサポートを務めている。



2026年鈴鹿サンデーロードレース第2戦 参戦報告書

◎6月7日(日) 決勝レース(フルコース8周) ◎天候・路面 Rain/Wet

#54 久原昂士 総合2位/ナショナル1位/NSFチャレンジ1位

#71 中山結互 リタイア

東海地区に梅雨入り宣言が出されたこの日、鈴鹿サーキットも朝から天候はぐずつき気味。最初のレースがスタートする直前にWET宣言が出され、J-GP3クラスも2周減算の8周で行われることになった。

2番グリッドからスタートした久原はクラッチミートをミスしてポジションを落とし、後続グループに吸収されてしまう。対して8番手スタートの中山は絶妙なスタートを決めてポジションを一気にアップすると、オープニングラップを2番手で通過する。

3周目、久原は集団を抜けるとさらにペースアップ。3番手を走る中山を抜くと、2番手の選手もパス。苦手意識があるという雨の中、積極的なライディングをみせ、一時はトップを独走する針尾大治郎選手を凌ぐタイムを記録する。だが序盤で大きく開いてしまった差はなかなか縮まらず、最終的には針尾選手に12秒以上もの差をつけられての2位となった。

序盤は好走をみせた中山だったが、徐々にポジションを落とし、レース中盤には6番手にまでドロップダウン。予選3位のジャクソン・マクドナルド選手とバトルを展開する。6周目の1コーナー、中山選手は先行するマクドナルド選手のインについて前に出るが、大きく膨らんでしまい、アウト側のゼブラでスリップダウン、ここでレースを終えることになった。



#71中山と#26マクドナルド選手がヘビーレインのコースでバトル

ナショナルクラスで2連勝(総合2位)を遂げた久原



2026年鈴鹿サンデーロードレース第2戦 参戦報告書



ナショナルJ-GP3クラス:
決勝総合2位(ナショナル1位/NSFチャレンジ1位)◎予選2位
久原昂士(くはら こうし) 13歳

『金曜の特別スポーツ走行では調子が良くありませんでした。前回のレースの後、他のコースで違うマシンでレースをしていたこともあり、なかなか調子が戻せませんでした。予選は前回集団になってなかなかタイムを縮められなかったため、今回は単独でのタイム短縮を目指しました。前日(金曜日の特別スポーツ走行)の調子が悪かったので、単独でタイムを出せるかは不安でしたが、少しずつですが調子は取り戻せました。決勝ではクラッチミートでレブに当ててしまい、焦ってアクセルをさらに握ったことで失速してしまいました。レース中にいいタイムも出せましたが、結局スタートの遅れが結果に響いてしまいました。以前乗っていたCBRは車重があるので雨でも問題なく乗れていましたが(軽量の)NSF250Rに乗るようになってからは、バイクに十分に荷重がかけられず、苦手意識を持っていました。今回はスタートで置いていかれてしまったことが最大のミスですが、良かった点としては、数回だけですが、S字でいいラインが取れたこと、バイクにしっかりと荷重をかけられ、安定してタイムを刻めたことです。次戦に向け、ホールショットを狙えるよう、しっかりとスタート練習をしておきたいです。そしてレース序盤から自分のペースを作り、勝ちを狙いたいです』



ナショナルJ-GP3クラス:決勝リタイヤ◎予選8位
中山結互(なかやま ゆうご) 13歳

『第1戦の後に全日本選手権でオートポリスを走りましたが、特別スポーツ走行(特スポ)では、その際に学んだことがまるで生かせずに、タイムもベストから2秒落ちの2分24秒台でした。全日本選手権とはマシンが違い、最近身体も少し大きくなったことで、感覚が以前と少し違っていたことが原因です。特スポでタイムが出せなかったため、予選では速い人についていくつもりでしたが、コースに出るタイミングと位置取りが悪く、結局タイムを伸ばせませんでした。ベストタイムも最終ラップだったので、最初からペースを上げられるようにしないとダメだと思います。決勝ではスタートが決まり、一時は2番手にまで上がりましたが、その後はペースがつかめず、走りにもメリハリがありませんでした。ポジションも落ちて徐々に焦りだし、抜き返す場所がないところで突っ込んでしまって、ゼブラに乗って転倒という結果になってしまいました。焦りがあり、プレッシャーも感じていましたので、メンタルをもっと強くすること、コースをもっと大きく使うこと、そしてS字でのアクセルのメリハリといった課題を解決して次戦に臨みたいと思います』



2026年鈴鹿サンデーロードレース第2戦 参戦報告書



岡田忠之Principal

『予選では久原が単独で2番手のグリッドを取っていますが、中山は8番手でした。両名とも持ちタイムがまだまだです。アドバンスコース生のさらに上のスカラシップ生に見合う強さ、速さはまだまだ身につけていません。とにかく2分20秒を切ることを目指してほしいです。今回優勝した選手も、必ずしも速いというわけではありません。両名には、練習でともに走っている(スカラシップ生の)富樫虎太郎のレベルにまで行ってほしいと思っています。』

決勝では久原が表彰台には上がりましたが、中山は転倒して2戦連続のノーポイントです。オンボードカメラを見ると、抜きにかかるラインがイン側過ぎました。自分自身をコントロールできておらず、それが転倒という結果となってしまいました。久原は今回マシンのラップタイムモニターを隠しましたが、その結果走りに集中ができて、いい結果につながりました。走りのみに集中することで自分のいいところと悪いところが分析できて、悪いところを修正できるんです。今後もこの対策は続けていこうかと思っています。』

今回は特に中山が苦戦した印象です。その要因としては、走りもですが、レース以外の部分、例えば今回はノートを忘れてしまいました。本当にレースがしたいのかとさえ思いました。準備と覚悟を持って、もっと真剣に取り組んでもらいたいですね。またこれは久原にも言えることですが、自分でどこをどのようにしたらいいのかを理解できていないように感じます。現状のタイムの原因が何なのかを理解できていません。もちろん講師陣はアドバイスをしていますが、まだまだ分析と取り組み方が足りていません』





MFJ 公認 準国際競技会
鈴鹿サンデーロードレース第2戦



MFJ/SMSC 2026 SUZUKA SUNDAY ROAD RACE-Round2

インターナショナルJ-GP3(NSF250R) 決勝 レース 2026 / 6 / 7 10:40

SUZUKA CIRCUIT
Full Course 2-Wheels(5,821m)

正式結果表

No. 26

Weather :Rain
Track :Wet

Pos	No	Class	C.P.	NSF	Rider	Team	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	1	INT	1		針尾 大治郎	Raptor Velocity Racing	Honda/NSF250R	BS	8	21'17.055		2'37.912
2	54	NAT	1	1	久原 昂士	Team HRS	Honda/NSF250R	DL	8	21'29.779	12.724	2'39.267
3	39	INT	2		金子 寛	らいらく企画 with RG NIWA	Honda/NSF250R	BS	8	21'32.708	15.653	2'40.169
4	8	INT	3		宮田 忠幸	チーム吉田工建	Honda/NSF250R	BS	8	21'32.854	15.799	2'39.513
5	72	INT	4		岸田 慶一	FLEX Racing & ちーむとらお.	Honda/NSF250R	BS	8	21'41.563	24.508	2'39.899
6	69	NAT	2	2	向田 克章	BlackBikeDan	Honda/NSF250R	DL	8	21'53.098	36.043	2'41.775
7	87	NAT	3	3	知歳 可穂	TN45 MIRAI Racing with Astemo	Honda/NSF250R	DL	8	21'53.108	36.053	2'42.851
8	36	INT	5		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	Honda/NSF250R	BS	8	21'55.823	38.768	2'43.095
9	3	NAT	4		大内田 未未	B-dash106 RS RAIJO	Honda/NSF250R	BS	8	22'00.559	43.504	2'42.681
10	2	INT	6		岩田 吉正	Team BATTLE	Honda/NSF250R	DL	8	22'14.791	57.736	2'44.331
11	10	NAT	5		田嶋 勇輝	Team BATTLE	Honda/NSF250R	DL	8	22'42.821	1'25.766	2'48.037
***** 以上チェッカー *****												
12	26	INT	7	4	J.MACDONALD JACKSON	MACDONALD Racing TTR	Honda/NSF250R	DL	6	16'19.654	2Laps 2Laps	2'41.174
***** 以上完走 (規定周回数 6Laps) *****												
71	NAT	-			中山 結互	Team HRS	Honda/NSF250R	DL	5	13'38.414	3Laps 1Lap	2'41.132
89	NAT				栗本 志能武	オートスタジオスキル	Honda/NSF250R	PI	4	10'58.675	4Laps 1Lap	2'42.885
35	NAT				村上 正也	Team MURAKAMI with K&T	Honda/NSF250R	BS		スタート出来ず		
83	NAT				青沼 隆司	K&T with macwestern (株)青沼塗装工業	Honda/NSF250R	BS		スタート出来ず		

Fastest Lap

INT	2'37.912 (4 / 8)	132.704 km/h	1	針尾 大治郎 / Raptor Velocity Racing
NAT	2'39.267 (3 / 8)	131.575 km/h	54	久原 昂士 / Team HRS

Start Time :9:25'50 Finish Time :9:47'07

Entry :16 Start :14 Finish :12

WET宣言により8周(2周減算)のレースとした(鈴鹿サンデーロードレース特別規則第4条4-3)